



シンポジウム

アジア近隣諸国との対立と協働

—学術ネットワークをいかに継続的に構築するか—

主 催：日本学術会議 地域研究委員会 アジアの地域協力の学術的ネットワーク構築分科会、
政治学委員会 比較政治分科会

共 催：科研基盤研究強化支援推進プログラム（青山学院大学）

日 時：2019年12月20日（金）13時20分～17時30分

場 所：日本学術会議講堂（千代田線乃木坂駅、青山墓地方面出口、出口より徒歩1分、左側の建物）

開催趣旨：

東アジアの近隣諸国関係が悪化している中、日本近代において国際協調の思想が一貫して存在しつつも、東アジアでは隣国との関係において戦争を防ぐことができなかったという、歴史の重大な教訓から、「アジア近隣国との対立や不安定化の先鋭化の中で、いかに近隣諸国との学術ネットワークを恒常的に構築し、安定と繁栄を維持し続けるか」は、この地域で2度と戦争を起こさず、かつ安定と繁栄を維持し続けるために極めて重要な課題であり、学術研究者としての責務でもあると考える。

本シンポジウムでは、日本、中国、韓国、沖縄との連携、さらに ASEAN、EU のガバナンスや不戦共同体、エネルギーの共同などに学びつつ、いかに対立が継続する中で、大学人や市民、若者の恒常的な学術的ネットワーク構築が、地域の安定と平和・発展に寄与するかを立証し、それを制度的にも実現していくことを目指し、シンポジウムを開催する。

プログラム：

13：20 開会挨拶

宮崎恒二（日本学術会議第一部会員・地域研究委員会委員長、東京外国語大学名誉教授）

13：30 開催趣旨

羽場久美子（日本学術会議連携会員、青山学院大学国際政治経済学部教授）

司会 小谷汪之（日本学術会議特任連携会員、東京都立大学名誉教授）

報告

13：40 油井大三郎（東京大学名誉教授、一橋大学名誉教授）

「東アジアの地域協力と歴史和解の可能性を探る」

14：00 貴志俊彦（日本学術会議連携会員、京都大学東南アジア地域研究所教授）

「戦時下の日中相互認識のずれ—初の大陸映画「東洋平和の道」をめぐって」

14：20 劉 傑（早稲田大学社会科学総合学術院教授）

「中国の一带一路政策と、アジアの学術共同」

14：40 磯崎典世（日本学術会議連携会員、学習院大学法学部教授）

「日韓の対立と協働、学術ネットワークの構築」

15：00 大日方純夫（日本学術会議連携会員、早稲田大学文学学術院教授）

「歴史認識をめぐる協力と協働—日中韓3国共通歴史書の挑戦」

15：20 首藤もと子（筑波大学名誉教授）

「ASEAN 連結性をめぐる地域的ガバナンスと教育・学術交流の課題」

15：40 佐藤学（沖縄国際大学教授）

「沖縄から見る世界秩序の変動—「最前線」からの報告」

16：20 総合討論・シンポジウム

司会 小谷汪之（同）

コメンテーター（各10分）

16：20 金山直樹（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学法科大学院教授）「国際法から」

16：30 羽場久美子（同）「EUの対立と協働の観点から」

16：40—17：25 フロアからの質問、コメント

17：25 閉会挨拶

宮崎恒二（同 地域研究委員会委員長）

17：30 閉会